

# エンカウンター（ENCOUNTER）

第 119 号

平成24年3月20日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

<http://encounter.agape.gr.jp/>

「エデンのかけ橋 - モーク先生の教えと手紙」より(10)

## 第4部 弟子たちとの書簡集

### 解説

次に掲げるものは、モーク先生が愛する弟子たちに書き送った、数多い愛の手紙の中の、珠玉のようなほんの数通でしかない。これらの弟子たちと、モーク先生との関係は、それぞれの方々の略歴からおわかりいただけと思いますが、若干説明を加えます。

他といささか趣きを異にしているのは、小西先生との文通であります。

これは当時一高の学生であった若き日の小西先生が折に触れて書き続けた感想文を、モーク先生に送り、先生がこれに対するご自分の感想をお書き下さり、お返事を下さったものを含むもので、珍しい師弟の往復書簡といえます。

## 1 小西（旧姓今西）芳之助

### 小西芳之助牧師略歴

- 1898年 奈良県に生まれる。
- 1917年 第一高等学校入学。モーク先生のバイブルクラスに出席
- 1920年 東京大学法学部に入学。
- 1923年 東京大学卒業。
- 1925年 安田信託銀行に入社。
- 1947年 献身して、本所緑星教会の牧師に就任。
- 1949年 高円寺東教会を創立。
- 1980年 召天。

### 節操のある人となりなさい

1919年3月6日

今西（小西）

人々は、静かで決して争わないタイプの方が好きです。しかし、どんなに温厚に見えても、節操のない人は頼りになりません。頼まれると断り切れないで、つい自分の力の及ばないことや、正しくないことまで引き受けてしまいます。

「否」と言わなければならない時は、はっきり「否」と言いなさい。もし言わないと、あなたは、他人から信頼されるに値いしないのです。

節操のある人となりなさい。

返事

ローラ・モーク

キリストは決して争うことはなさいませんでした。口論もなさいませんでした。いつも静かにして、受動的にしておられました。それでも誰もイエスの節操や純潔について、疑いを抱く人は一人もいませんでした。イエスの人柄を見れば、それは自然に分かることで

した。イエスの面前にいますと、一言も発せられない前から、悪い心や感情を持った人たちは、良心を責められてしまいました。私たちは皆、このような影響力が持てるように切望すべきです。私たちは、自分の節操を、こうこうだと述べて他人に聞いてもらうよりは、むしろそれを相手に感じてもらうことができるのです。そしてその方がよいのです。

よく私は、次のように言われることがあります。「あなたはああいふ場所にはお出でにならないと知っていましたから、お誘いしませんでした」。どうしてそういうことがお分かりだったのでしょうか。それはきっと、私の人柄から判断なさったものでしょう。と申しますのは、私もあれこれの具体的なことについて、それがいけないなど言ったことはないからです。

## 神がメッセージを伝えようとなさる時は

1919（大正8）年9月12日、日曜日

今西（小西）

昨日私は、内村鑑三先生の書かれた随想を読んで、牧師になるに際して、何が真の動機でなければならぬかを、はっきり教えられました。

今朝はモーク先生のバイブルクラスで、イエスが大きな祝福を受けになられた直後に、受けられた誘惑について学びました。第3の誘惑は、大きな力を私に今までにも及ぼしていましたが、将来も及ぼすことでしょう。

そしてイエスのお導きによって、この世の私の任務、すなわちすべての人の心に平安を与える仕事を、やって行くことができるでしょう。

内村先生の聖書研究会では、大そう感激いたしました。そして神の言がこの世の中でどんなに大切であるかについて、新しく深く感銘を受けました。

今夜は、萬木牧師の説教を聞いてたいそう感動いたしました。萬木牧師は、私にヒントを与えてくださいました。今日という日は、大きな恵みを受けました。

明日から学校が始まります。神のお導きを思うと心が弾みます。

返事

ローラ・モーク

神が私たちに伝えたいメッセージがある場合、あるいは私たちに学んでほしいと思われる教訓や、私たちに与えて下さる祝福がある時はいつでも、神は私たちにその教訓を教えたり、その祝福を与えたりするために、だれか人を用意して下さるように、配慮なさるのです。

丁度内村先生の聖書講義や、萬木牧師の説教があなたに神からのメッセージを伝えてくれたように、あなたもまた、他の人々を教え

るのに神から使っていただけるよう準備し、進んで引受けなければなりません。私たちはただ受けるだけに満足してはいけないので、与えることを切に願わなければなりません。内村先生も萬木牧師も、そう度々人々の所にまで行って話を聴いてあげるということはできません。先生方は説教をなさらなければなりません。そういう訳で、こういう説教者の先生方を、私たちの配慮、祈祷、出席などによってお助けしなければなりません。時には、他の方々をお助けするためには、聴きたいと思うお話が聴けないことがあっても、その犠牲に甘んじなければなりません。働くことが私たちの務めだとすれば、私たちがそうするのは当然です。

## 他人をのろうなかれ

質問

3月13日

今西

他人をのろうことは、自分をのろうことです。「いい気味だ」というのは、「その人の悲しみを喜ぶ」という意味です。大変意地悪な心から、こうした言葉が出てくるのです。他人をのろうことは、取りも直さず自分自身をのろうことになります。

歌

偽善者は悲しみを喜び、私は他人の幸福をねたむ。  
私が貴方の前に私の罪を告白する必要はないと、貴方はかつて私に言った。  
だから私は、私の感じていることを書かない。  
イエス・キリストの血潮は私の心の問題を解決するに足りる。

応答

ローラ・モーク

前記の事は私に「笑えば世間の人とは貴方と共に笑い、泣けば貴方は一人で泣く」という格言を思い起こさせます。

不幸な人に本当に同情し、その人と共に悲しむことのできる人は少ないのです。キリストの愛で満たされている人だけがそれを行うことができます。「神は愛なり」であり、「愛は神なり」です。

そういうわけですから私たちは絶えず増加する心からの神の愛を求めなければなりません。神の愛の故に私たちは他人を愛することができます。そして私たち自身の富より前に他人の富を捜すことができます。

私たちの第1の思いは「他人」であって「私自身」であってはなりません。

## 質問

5月4日

今西

私たちは、他人の欠点を指摘したり、彼らの欠点について何か言ったりしてはならない場合には、そうする必要はありません。他人の悪い行いを公表することは愚かなことです。そんなことをしてもその人の役に立たないし、その人を高めることにもなりません。

## 応答

ローラ・モーク

冷酷な態度で、他人の欠点をしゃべってはならないことは当然です。なぜなら、誰でも自分の欠点を多少持っていて、悪口を言われることを誰も好まないからです。そこでキリスト者として、私たちは、他人の欠点を言いたいような気持になったときには、大いに祈るべきです。

## 質問

5月14日

今西

人々があなた方のことについてあらゆることをいう場合に、あなた方は自分のことを弁護したり、彼らの過失を指摘したりしてはいけません。言わせておきなさい。昔の聖徒もそうしたのです。

## 回答

ローラ・モーク

聖徒たちは自分を弁護せず、自分たちの弁護のためには、生ける神に委ねました。

「愛する者たちよ。自分で復讐をしないで、むしろ、神の怒りに任せなさい。なぜなら、『主が言われる。復讐はわたしのすることである。私自身が報復する』と書いてあるからである。」

(ローマ人への手紙 12・19)

## くやしさ

1919年5月27日

今西

私達は、私達が一生懸命に行なったことを人に誤解されるとき、くやしく思います。それは、私達が他人の心から多くを期待したり、彼らが私達について言うことに、強調を置き過ぎるからです。もし、私達が、彼らが私達について言うことを、木から木へと吹いてゆき、すぐ消えてゆく風のようなものだと思うことができれば、私達はくやしく思う必要はないどころか、私達が風の音楽を楽しむことができるように、それを楽しむことさえできます。

応答

ローラ・モーク

この文章もよいレッスンです。なぜ私達は、今日聞き、明日には世界で忘れられてしまうようなことによって、悩まされるのでしょうか。あなたの思いと心とを、キリストとキリストの承認のうえに固定しなさい。そうすれば、世界は私達を傷つけたり、悩ましたりすることはできません。キリストの承認は、完璧に私達を満足させて下さるものですから。



## 信頼

1919年11月10日

今西

神は私に、私が何者であるかを教えておられます。私はキリストのおかげで、神のものとされています。神が私にお求めになる唯一のことは「信頼」です。私は私の罪と無価値さを、心配する必要がありません。「信頼」で十分なのです。「信頼のみ」、それで十分なのです。私には感謝の心がありませんし、却って不義の思いに満ちています。しかし、信頼のみで十分なのです。

これは私にとって、まさに、「福音」であります。キリストは私の罪のために死なれました。私は私の罪を心配するに及びません。神が私と共にいますのです。神が私を私の罪から贖い給いました。悔い改めて神に信頼するところの罪びとは幸いであります。

回答

ローラ・モーク

このような信仰と信頼はめったにお目にかかれません！ この文章を読んで私にどんな大きな喜びがもたらされたことでしょうか！折にふれて、私はあなたのこと、あなたの未来生活のことを心配していましたが、その必要はありませんでした。神様があなたをお看取りになり、あなたの信仰があなたを救うでしょう。

## 人は見せかけることはできない

2月1日

質問

今西

一つの言葉でも、また一つの行為でも、それはその人の全人格を表わすものである。わたしたちの心の中に在る事柄は何らかの方法で、それ自身外へ現われるものである。人は見せかけることはできない。すばらしいことを言おうとしたり、よい行いをしようとしたりすることよりも、むしろ心を清くしようと努めるべきです。

歌

誘惑がある時には、あなたの精神の力でそれらを克服しなさい。わたしたちは他人にわたしたちの心の中を見せることはできないが、わたしたちの言葉や行為は、それを彼らに現わします。何というよい教訓でしょう。わたしたちはすべて人間的で、不純です。

わたしたちのすべては、潔白になるためには、イエス・キリストの血潮を必要とします。わたしたちは、わたしたちの罪深さをさとる時、キリストの血潮の浄化力を信ぜずにはいられませんが、

わたしはその血潮が浄化力を持っているかどうかは分かりませんが、

しかし神がそう言います。そしてわたしの良心はそれを真理として受け入れます。そしてわたしはそう信じます。

これがわたしの信仰です。おお、神よ、あなたから得たこの信仰を助けてください。

応答

ローラ・モーク

これはとてもよい教訓です。「心の清い人たちは神を見るであろう」。もし心が清く神の聖霊がその中に住むならば、悪鬼はこうした心からは退散することがあり得ます。ある偉人がかつて次のような

質問を受けました。「十分な信仰を持っていないとしたらどうでしょう。わたしはそれでも救われる可能性があるでしょうか。」その偉人は答えました。「ありがたい、わたしの救い主の衣服のへりにふれることができればわたしは救われるでしょう。」

ささやかな信仰は偉大な信仰と同じく本当に信仰と言えます。灰の中の小さな一塊の石灰の火も、炉の燃えさかる熱さと同じく本当に火と言えます。それはすべてキリストの力によって行われます。

オクラホマ州、ドーバー

1921(大正10)年2月7日

ローラ・モーク

親愛なる今西様

1月21日の貴方の手紙は先週わたしの所に着きました。わたしはそれを喜んで読みました。わたしは、家に着くとすぐに母に貴方の手紙を渡しました。母はもう一度家にわたしを迎えて大変喜んでるように思われます。

家へ帰る道は長くて危険でしたが、「神様が又先頭に立ってわたしを案内してくれます」。そこでわたしは安全にドーバーに着きました。そしてわたしの道を再び日本に向けることに、何の心配もありません。

私は今日の午後、教会の書類の一部を読んでいました。そしてこの詩にぶつかりました。わたしは最後の2節を示しましょう。なぜならそれらに一番感銘を受けたからです。神様のみが知り給うのです。

神は一日一日わたしの通路に注意なさる。

神は先に立って行き給う。

神は道案内をし給う。

神はわたしを隠し、わたしは安全である。

神はわたしの試練が持続するよう助けて下さる。

わたしは神と共に歩む。なぜなら神のみが知ることをわたしは確信するから。

神が計画なされた道はわたしにとって最善である。  
わたしは神にいつも信頼する。  
わたしは目で見ることにはできないけれど、神は毎日わたしの手を握る。  
神はわたしを安全に途中ずっと助けてくれる。  
神のみぞ知るとわたしが言える時に、わたしは満足する。

勿論わたしは日本での仕事全部のために祈っています。しかし「神のみぞ知る」です。そしてわたしは安らかです。...

神様が貴方を祝福して下さいますように。そしてあなたが他人に対して霊的に祝福の種となりますように。

1940（昭和15）年3月4日、日曜日の午後

親愛なるモーク先生

今西

長い間のご無沙汰御許しく下さい。ご機嫌如何ですか。神様の大きな愛のみ翼のもとにいらっしゃるものと確信いたします。最近、私は毎朝、旧約聖書を1章ずつ読んでいます。そして神様は毎朝、何か新しい点を教えて下さいます。

20年前、わたしは毎日先生の所へ私の英語を持って行ったものでした。すると先生はそれを直して、お考えを付記されました。わたしはその書類を注意して保管しています。そして時々それをくり返し読んでいます。そしてわたしは毎日先生のところへ手紙を書こうと先日決意しました。どうかそれを直して、先生の応答を添えて私に送り返していただけないでしょうか。私は福音を日本語で、また英語で説教したいという野心にかられています。新渡戸博士は、太平洋の架け橋の一小部分になろうという野心に燃えました。新渡戸博士の影響を受けて私もまたそのような野心を持っています。どうぞ、わたしの目的を達するように助けて下さい。

私は月曜日毎に先生に手紙を書き送ろうと思います。なぜなら月曜日は、先生がよくご存じのとおり、私には忘れられない日だからです。

これは私が試みる最初の手紙です。今日私は、私の毎朝の祈りを書きましょう。

「昨晚よく眠れたことを感謝いたします。天国、救いの十分な実現、あがない、讃美、復活に、一晩だけ近づいたことを感謝いたします。それに対して心から感謝いたします。私たちの中に生きてはたらき給うのは、私たち自身ではなくてイエスであり、神様は陶工であり、私たちは陶土であるという、この信仰を強めて下さい。今日、怒らないように、急がないように、何物も恐れないようにお助け下さい。というのは、神様は何処にもいらっしゃるのですから。

私の安田信託会社を祝福し、それを全世界で最良の会社たらしめ

て下さい。私の一生を会社のために、重役のために、友人のために、お客さん（受益者）のために捧げるように助けて下さい。私の教会の会員を祝福して下さい。牧師、モーク先生、ハツラー先生、広野、篠崎、藤田、中上、それから他の数人を祝福して下さい。彼らの家族を祝福して下さい。

このことをイエス・キリストの聖名を通してお願い申し上げます。」

私のひそかな朝の祈りを、ほかの誰にも話さないでください。どうぞまちがいを訂正して、先生の応答を添えて送り返してください。

私は注意してそれを保管しましょう。私がこの世を去ったあとで、私の息子がおそらくそれを公表してくれるでしょう。

追伸 私の家族は全員が大変健康です。神様は豊かに私の家庭を祝福して下さいます。私のことに関してはご安心ください。

応答

ローラ・モーク

親愛なる小西様

お手紙ありがとうございました。私はたいへん喜んであなたの手紙を訂正し、その都度あなたに送り返します。

20年前、あなたが英語を直してくれとって持って来たことをたいへんよく記憶しております。月日の経つのは何と早いことでしょう。その時より今日は、私達ははるかに天国に近づいています。そればかりでなく、私達の愛する者たち、友人たちも既に天国にあり、私達を待っています。

近頃、信仰は何という慰めとなることでしょう。私達は神様が至高の方で、キリストが全く有力で愛であることを知っています。私達は安心して私達のすべてをキリストに委ねることができます。

一步一步、神様は私達を完全な日に導いて下さいます。私は神様のようにますます完全になろうと努力して感動しております（マタイによる福音書 5・48）。それは私のひそかな抱負であり、私の日々の祈

りです。私は私の天の父のようになり、実子のようになりたいのです。

会議は始まっています。私は私の霊的な息子たち、特に広野さん、天野さん、藤田さん、中上さん等を誇りに思っております。そしてこういう人たちは今私達の愛する教会の真の指導者です。

神様があなた及びすべての人を祝福して下さいように。

追伸 私はあなたの手紙を来週お待ちしております。